

亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会の会議開催状況

開催日	議事内容
令和2年8月6日(木)	令和2年度第1回会議 <input type="checkbox"/> 教育環境整備計画検討委員会について <input type="checkbox"/> 年度別、地区別児童生徒数の推移について <input type="checkbox"/> 宮城県内の小中学校の状況について <input type="checkbox"/> 町立学校の児童生徒数の推移について
令和2年10月16日(金)	令和2年度第2回会議 <input type="checkbox"/> まちづくり計画について <input type="checkbox"/> 学校再編の先行事例について <input type="checkbox"/> 報告書作成までのロードマップについて
令和2年11月27日(金)	令和2年度第3回会議 <input type="checkbox"/> アンケート調査の検討 ・調査対象 ・調査方法 ・調査内容 ・調査のまとめの方法
令和2年12月10日(木)	アンケート調査内容の確定 <input type="checkbox"/> アンケート調査の詳細検討 ・調査対象 ・調査方法 ・調査内容 ・調査のまとめの方法
令和3年1月5日(火) ～1月20日(水)	アンケート調査の実施 ・調査対象 ①.町立小中学校に在籍する児童生徒の保護者 ②.①以外で亘理町に住所を有する児童生徒の保護者 ③.未就学児の保護者
令和3年4月23日(金)	令和3年度第1回会議 <input type="checkbox"/> アンケート集計結果について ・アンケート集計結果の概要説明 ・アンケート調査結果に対する意見聴取
令和3年5月21日(金)	令和3年度第2回会議 <input type="checkbox"/> アンケート調査結果と分析及び考察について
令和3年6月24日(木)	令和3年度第3回会議 <input type="checkbox"/> 地区ごとのアンケート結果報告会の計画(案)について ・アンケート結果報告会の日程等の確定 ・教育環境整備計画検討委員会の意見の確認 ・アンケート結果報告会で使用する資料の確認
令和3年7月29日(木)	令和3年度第4回会議 <input type="checkbox"/> 地区ごとのアンケート結果報告会の計画(案)について ・アンケート結果報告会開催に係る広報活動 ・意見聴取の方法 ・アンケート結果報告会で使用する資料の確認
令和3年10月8日(金)	アンケート結果報告会 亘理中学校体育館

令和3年10月15日(金)	アンケート結果報告会 逢隈中学校体育館
令和3年10月20日(金)	アンケート結果報告会 農村環境改善センター
令和3年10月29日(金)	アンケート結果報告会 荒浜小学校体育館
令和3年12月1日(水)	令和3年度第5回会議 <input type="checkbox"/> アンケート結果報告会の内容の共有について <input type="checkbox"/> 検討委員会委員の公表と審議内容の公表について <input type="checkbox"/> 報告会を受けての検討委員会の意見の見直しについて <input type="checkbox"/> 今後の検討委員会の方向性の検討について

亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会の審議経過

令和2年度第1回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和2年8月6日（木）午後7時

議事内容：教育環境整備計画検討委員会について
年度別・地区別児童生徒数の推移について
宮城県内の小中学校の状況について
町立学校の児童生徒数の推計値について

◆令和2年度第1回検討委員会の概要

検討委員会で確認されたこと

○本委員会の在り方について

本委員会は「方針を決定」するのではなく、様々な資料を基に、町内の教育環境の在り方を議論し、それを報告書でまとめる役割を担う。議論の結果を一つにしぼる必要はない。報告書の提出を受け、町が将来にわたる教育環境の在り方の方針を決めていく。

○報告書の作成の目安を令和4年3月末とする。（変更の可能性もあり）

令和2年度第2回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和2年10月16日（金）午後7時

議事内容：まちづくり計画について
学校再編の先行事例について
報告書作成までのロードマップについて

◆令和2年度第2回検討委員会の概要

○まちづくり計画について

第5次亘理町総合発展計画、亘理町震災復興計画図及び都市計画用途地域図を用いて説明。第1回会議時意見の、大規模区画整理や宅地開発等は現在のところ計画されていない旨説明。

○学校再編の先行事例について

山元町、角田市の取り組みについて情報共有

○報告書作成までのロードマップ案について

<報告書作成までのロードマップ>

- ・あくまでも現時点でのロードマップ案である。報告書作成の令和4年3月末をゴールにしたもので、必要に応じて後ろにずれこむ場合もある。
- ・月1回の委員会開催を原則とするが、必要に応じて月2回まで増える場合がある。

報告書作成までのロードマップ

開催予定	議事内容
令和2年9月	<input type="checkbox"/> 先行事例の確認 <input type="checkbox"/> 報告書作成までのロードマップ案の検討
令和2年10月	<input type="checkbox"/> 報告書作成までのロードマップ案の確認 <input type="checkbox"/> アンケート調査の検討 ・調査対象 ・調査方法 ・調査内容 ・調査のまとめの方法
令和2年11月	<input type="checkbox"/> アンケート調査の詳細検討 ・調査対象 ・調査方法 ・調査内容 ・調査のまとめの方法
令和2年12月	<input type="checkbox"/> アンケート調査の実施
令和3年3月	<input type="checkbox"/> アンケート調査結果の報告
令和3年4月	<input type="checkbox"/> アンケート調査結果の検討
令和3年5月	<input type="checkbox"/> アンケート調査結果の検討
令和3年6月	<input type="checkbox"/> アンケート調査結果と検討結果の公表方法の協議
令和3年7月	<input type="checkbox"/> 地区別報告会の開催計画の協議
令和3年8月	<input type="checkbox"/> 地区毎の調査報告会の開催（2ヶ所）
令和3年9月	<input type="checkbox"/> 地区毎の調査報告会の開催（2ヶ所）
令和3年10月	<input type="checkbox"/> 報告会のまとめ検討
令和3年11月	<input type="checkbox"/> 報告会のまとめ検討
令和3年12月	<input type="checkbox"/> 報告書検討
令和4年1月	<input type="checkbox"/> 報告書検討
令和4年2月	<input type="checkbox"/> 報告書検討・確認
令和4年3月	<input type="checkbox"/> 報告書検討・確認

令和2年度第3回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和2年11月27日（金）午後7時

議事内容：アンケート調査の検討

◆令和2年度第3回検討委員会の概要

- アンケート案の文言の修正を行い、会議後においてもアンケート案についての意見を集約。
令和2年12月10日までにアンケート調査内容を確定し、令和3年1月5日にアンケート調査用紙を配布。

令和3年度第1回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和3年4月23日（金）午後7時

議事内容：アンケートの集計結果について

◆令和3年度第1回検討委員会の概要

- ・アンケート調査結果の概要説明。
- ・各委員よりアンケート調査結果に対する意見を伺う。

○会議時の意見

- ・いつかはやってくる減少の件で統廃合がやってくるイメージ。
- ・クラスが減っていないのでピンときていない方もいる。
- ・このままでいい方々への説明責任は必要。
- ・これから未来を作っていく子ども達をどう育てていくか、ぶれないようにしていくことが必要。
- ・フリーに書いている内容が非常に重要。(魅力のあるまちづくり・安心して通学できる環境づくりなど)
- ・まちづくりを考えながら教育環境の整備も考えるべきではないか。
- ・何回も統廃合ではなくて、小中一貫校で建てた方がいいのでは。
- ・各地域の中で学校の独自性を出して教育活動を長年続けてこられた巨理の風土がある。それを踏まえ、数字の裏にあるものを探る必要がある。
- ・学校に登校できない子どももいるようなので、そういう子どももイメージしながら気楽に登校できるようになればいい。
- ・学校は学力向上のためにあるので、学校の質を守られる施策を考えたい。
- ・教職員の工夫や意識で短所を長所にしていくことも大事。
- ・近隣では既に実施しているので、ある程度アンケートに沿って進めるべきか。
- ・再編統合で不都合や不便を感じる人をどうケアするか、意図的にどう配慮するかが町、教育委員会としては大事。
- ・再編統合に関して半数以上が進めるべきという意見も大事にしていきたいし、少数意見も大事であると反面では思うところ。
- ・子どもにとってより良い学びを保障することが大きな目的。
- ・子ども達は同じ環境で同じ勉強するのが平等だと思う。時間はかかると思うが整備していかなければならない。
- ・児童生徒の安全な通学を心配している人が沢山いる。絶対条件としてスクールバス、安全な運行の保障が必要。
- ・自由に書いた意見が非常に重要。選別してまとめれば方向性がみえると思う。
- ・小さい学校、大きい学校の長所短所に関して、例えば、大きい学校は目が届かないかという、逆に教員の人数も多いのでチームで子どもを見ることができる。
- ・小さい学校は統廃合に進むという思いがあると同時に、そのままでいいと思う方もいる。

その方々の説得も難しいという印象。

- ・少ない学校でも2～3学級必要というイメージはあるようだ。
- ・少ない所は知らんということにならないように。
- ・少人数の良さはあるし、現在のままがいい方も30%いる。それをどういうふうにかというところもある。
- ・色々な意見が出たために結果としてばらけた印象がある。
- ・親が楽しんでいる行事があるのでアンケートしてはどうか。
- ・人口減少の中で統廃合は目に見えている。当然やるという前提において、いろんな意見を検討し亘理町独自のものでいいと思う。
- ・数字が見えてきて考えが少しずつ分かってきた。
- ・数字に表れない少数派の方々の意見も大事。
- ・数字的なまとめではなく、フリーの内容を吟味する必要があるのでは。学校統廃合も含めて、小中学校の在り方みたいなものが要望されている事項として重点を置きたい
- ・選ばざるを得なくて統廃合に半分がいるが、そのままがいいが30%いる。
- ・多数の意見も重要だし少数の意見も重要。
- ・多様な考えに触れられるかどうかについては、小さい学校はフットワークが良いので外部や地域と連携でき、視野が広まるという面もある。
- ・大変劣悪なトイレについて記載があった。平等に授業を受けられる環境整備が必要。
- ・町に住みたい、生活したいというまちづくりが必要。
- ・統廃合する場合は中期的(5年から9年)が多かった。回答した方の子どもは卒業後ということになる。当面はいじらないでほしいということか。
- ・統廃合というよりは、まちづくり・他からの移動など最初に考えた方が良いのでは。
- ・統廃合となると保護者の送迎が出てくる。保護者の負担が増えるので慎重に検討が必要。
- ・統廃合や学区再編となった場合、そのままがいい30%の方を納得させるのが非常に大変。
- ・物事を考えるにあたり前提条件の議論が必要。
- ・保護者の方がどう思っているのか参考になった。
- ・法律の規制を取り払って独自のことも考えて欲しい。
- ・亘理の将来、未来にとって今の状況は問題ないのかを考える必要があるのではないか。

令和3年度第2回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和3年5月21日(金)午後7時

議事内容：アンケートの調査結果と分析及び考察について

◆令和3年度第2回検討委員会の概要

○調査結果を基に町が存続するための持続可能な教育環境に対する意見集約

- ・1クラス20人～30人程度が理想。

- ・学校はランドマークであり防災拠点である。保護者、地域の方々の話を聞いて決めたい。
- ・建設する場所によって、そこに集まる人数、通学の手段の検討。
- ・再編統合のメリットをしっかりと伝えることが重要。保護者が不安に思っている事をどうするか町側の対応をしっかりと伝える。
- ・子どもの意見を大事にしたい。
- ・集団に馴染みにくい子どもをどうするか検討必要。
- ・小学校・中学校ともに早急に統廃合して、適正な学校数にすべき。
- ・中学校の部活動は、吉田中、荒浜中は、選択できないような実情があり、他の学校と合同で行うという現状がある。改善してやりたい事が出来る様な形になればいい。
- ・中学校は2校で十分。小学校は存続させる。
- ・統合、再編した場合に出てくるデメリットを洗い出して、子どもたち、保護者の負担にならない事の検討。
- ・統廃合するにあたり、何年後を見据えるのか、児童生徒数を何人と見据えるのか定めないと、いつまでも平行線のままでいくと感じる。
- ・統廃合となればスクールバスは必要。
- ・用地確保して建設し、どこからも通いやすいような形になるのが理想。
- ・互理中学校区と逢隈中学校区の二つでよい。荒浜小・荒浜中は逢隈へ、吉田小・吉田中、長瀬小は互理へ。

令和3年度第3回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和3年6月24日（木）午後7時

議事内容：地区ごとのアンケート結果報告会の計画（案）について

◆令和3年度第3回検討委員会の概要

- アンケート結果報告会の日程等の確定
- 教育環境整備計画検討委員会の公表する意見の確認
- アンケート結果報告会で使用する資料の確認

令和3年度第4回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和3年7月29日（木）午後7時

議事内容：地区ごとのアンケート結果報告会の計画（案）について

◆令和3年度第4回検討委員会の概要

- アンケート結果報告会開催に係る広報活動
- 意見聴取の方法

令和3年度第5回教育環境整備計画検討委員会

開催日時：令和3年12月1日（水）午後7時

議事内容：アンケート結果報告会の内容の共有について

検討委員会委員の公表と審議内容の公表について

報告会を受けての検討委員会の意見の見直しについて

今後の検討委員会の方向性の検討について

◆令和3年度第5回検討委員会の概要

- 各会場の意見徴収内容及び意見提出用紙による意見内容の確認
- 委員名簿について公表し、審議内容については審議結果のみの公表とする。
- 検討委員会の意見については変更なし。
- 今後のスケジュール、事務局の計画案などの提示

学校統廃合の時期及び方法を考察するための基礎資料

1 新しいデータより

(1) 令和9年度児童生徒数推計 ※別添資料1

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	R3との比較
亶理小学校	73	83	97	95	100	96	544	-122
荒浜小学校	9	5	9	10	21	10	64	-32
吉田小学校	6	10	10	8	7	11	52	-37
長瀬小学校	7	6	14	13	12	18	70	-50
逢隈小学校	81	92	70	89	76	114	522	-69
高屋小学校	6	6	5	9	6	3	35	-29
亶理中学校	144	121	131				396	-54
荒浜中学校	25	15	13				53	-13
吉田中学校	17	13	20				50	-38
逢隈中学校	85	109	90				284	+6

(2) 複式学級 ※別添資料2

- ①吉田小学校：令和7年度より複式学級の可能性があるが、複式学級解消加配制度が続けば避けることができる。しかし令和11年度以降入学児童数の増加見込みがなければいずれは厳しくなる。
- ②長瀬小学校：令和10年度より複式学級の可能性があるが、複式学級解消加配制度が続けば避けることができる。令和8年度以降入学児童数の増加見込みがなければいずれは厳しくなる。
- ③高屋小学校：小規模特認校による他学区からの転入がなければ、令和5年度より複式学級の可能性がある。しかし、複式学級解消加配制度が続けば避けることはできる。令和6年度以降は、加配措置があっても複式学級が出てくる可能性があり、転入児童の数に左右される。

(3) 児童数と学校数 ※別添資料3

①児童数から見た学校数

令和2年度学校基本調査から、亶理町の児童数は1,640人で小学校は6校である。同程度の児童数の市町を見ると、柴田町(1,855人で6校)、大和町(1,794人で6校)である。この両町の全学年単学級編制の小学校数は柴田町が2校、大和町が4校で、大和町の4校のうち3校が複式の学級をもつ学校である。

②学校数から見た児童数

小学校が6つある市町は「多賀城市・柴田町・亶理町・利府町・大和町・美里町」である。このうち、児童数が亶理町より多いのは多賀城市、柴田町・利府町」である。美里町の面積は亶理町とほぼ同じである。児童数は亶理町よりも約500人少ない。

③全学年単学級編制の小学校

全学年単学級編制の小学校がある市町村は24で、それが無い市町村は10となっている。仙台教育事務所管内で全学年単学級編制の小学校が無い市町村は多賀城市、岩沼市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大郷町、大衡村である。特徴は、児童数が多い市町、そして小学校数が少ない(大郷町1・大衡村1)ところ、あるいは面積が小さい町(七ヶ浜町)となっている。

(4) 生徒数と学校数 ※別添資料3

①生徒数から見た学校数

令和2年度学校基本調査から、亶理町の生徒数は859人で中学校は4校である。同程度の生徒数の市町を見ると、白石市(817人で4校)、柴田町(946人で3校)、大和町(795人で2校)である。白石の1校は小原小中で、中心部から離れている。なお、白石市の面積は亶理町の約3.9倍である。

②学校数から見た生徒数

中学校が4つある市町は「多賀城市・名取市・岩沼市・白石市・亶理町」である。このうち白石市以外の3市は亶理町よりも生徒数が多く、いずれも同学年単学級編制の学校ではない。白石市は①と同様に1校は中心部から離れた小原小中が同学年単学級編制となっている。

③全学年単学級編制の中学校

全学年単学級編制の中学校がある市町村は14で、それが無い市町村は20となっている。仙台教育事務所管内において、全学年単学級編制の中学校があるのは塩竈市と亶理町である。なお、塩竈市の1校は浦戸小中学校で島にある僻地の学校である。

亘理町立小・中学校教育環境整備計画の方向性 ～ 事務局案 ～

1 前提

本案は亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会報告書作成に向けての事務局案である。定例教育委員会（町の教育委員参加の会議）において決定した案ではない。

また、町長部局と事前にすり合わせを行った案でもなく、あくまでも報告書作成に係る事務局の案である。

報告書提出後、教育委員会の方針を会議の中で決定し、アンケート調査結果報告会と同様に再度地域に出向いて説明、その後、総合教育会議を経て議会の承認という行政側の手続きが必要となる。

2 学校統廃合の方向性

(1) 中学校の統廃合を先行して進める。統廃合の時期は令和9年3月末日とする。

<理由>

令和9年度以降にいくつかの小学校で複式学級となる学年があることが予想される。その見通しは令和5年以降になれば分かるが、それを見越しての時期では遅くなる。報告書提出後の手続き、検討委員会で出された解決しなければならない課題への対応、統廃合に係る準備、そして建物の状況等を勘案すれば令和8年度末が最短で最適だと判断する。

(2) 小学校の統廃合は、年度別児童数推計値により「複式学級が避けられない学校」が予測された時点で、統廃合の時期や方法について検討する同委員会を再招集（顔ぶれは変わるが充て職とする）し検討を開始する。この際、高屋小学校は小規模特認校の制度により児童数が流動的であるため、それ以外の学校が対象となる。なお、年度別児童数推計値は当該年度5月1日で6年後を見ることが出来る。

※令和3年5月1日で令和9年度まで見通すことができる。

※複式学級が避けられない学校は、複式学級解消加配が配当されても複式学級がある場合となる。

<参考>

<学級編制>

二の学年の児童で編制する学級

①第1学年の児童を含む学級（ただし、第1学年と引き続く一の学年が第2学年以外である場合で、第1学年又は当該引き続く一の学年のいずれかの児童数が4人を超えるときを除く。）8人

②第1学年の児童を含まない学級（ただし、編制の対象となる学年が連続していない場合で、いずれかの対象学年の児童の数が8人を超えるときを除く。）16人

<複式学級解消加配>

学級編制基準により二つの学年で編制される学級（複式学級）を有する小学校で、当該学級の児童が13人以上となる場合に1人を上限として加配される。

3 中学校統廃合の内容

(1) 学校数について

生徒数規模で県内を見渡すと、概ね適正校数は2～3校となる。10年、20年の時間軸で学校統廃合後の再統廃合をなくすため（将来的に持続可能な教育環境の命題）には、2校が適当であると判断する。

年度別生徒数推計値によると、令和9年度の各中学校の生徒数の推計値は、亘理中学校396、荒浜中学校53、吉田中学校50、逢隈中学校284で合計783人となっている。

令和3年度において700名を超える生徒数を抱える中学校は、宮城野中学校、長町中学校、広瀬中学校、富沢中学校、増田中学校、名取第一中学校がある。

亘理中学校は780人（全学年7学級）の生徒を受け入れる校舎・体育館の能力はぎりぎり保持するが、通学の足となるスクールバスの運行を考慮するとハードルは高い。

新たな校舎の建設は財政的に厳しい状況であり、既存の校舎を活用するとすると、亘理中学校と逢隈中学校の2校に集約することがベターな選択となる。荒浜中学校及び吉田中学校は普通教室の数から困難である。

亘理中学校と逢隈中学校の2校に生徒を集約する。

(2) 統廃合の組合せ

町内を2校の中学校で統合すると組合せは次のようになる。

- | | | |
|----|-------------------|-------------------|
| ①案 | 逢隈中学校・荒浜中学校 | 亘理中学校・吉田中学校 |
| ②案 | 逢隈中学校・吉田中学校 | 亘理中学校・荒浜中学校 |
| ③案 | 逢隈中学校 | 亘理中学校・荒浜中学校・吉田中学校 |
| ④案 | 逢隈中学校・荒浜中学校・吉田中学校 | 亘理中学校 |

通学時間で考えると②の組合せは難しい。

③については、年度別生徒数推計値による令和3年度生徒数を基にした比較で見ると、令和9年度における亘理中学校の生徒数は-12.0%、逢隈中学校では+2.2%となっている。しかし、逢隈小学校の児童数が令和6年度以降マイナスとなり、令和9年度でその幅は-11.7%と大きくなっていく。これが数年後逢隈中学校にも反映され逢隈中学校も確実にマイナスとなっていくことが予想されるので、逢隈中学校を単独で存続させるのは効果的ではない。

④では逢隈中学校の教室数により難しい。

つまり組合せで考えると①が妥当となる。

**亘理中学校の校舎を活用し、亘理中学校と吉田中学校を統合する。
逢隈中学校の校舎を活用し、逢隈中学校と荒浜中学校を統合する。**

児童生徒数見込(令和3年度との比較)



R3.5.1時点

小学校	年度別児童数								令和3年度比較(人数)						令和3年度比較(%) (令和3年度を100%とした場合)					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
亘理小	667	666	637	636	620	613	593	544	-29	-30	-46	-53	-73	-122	95.6	95.6	93.1	92.0	89.0	81.7
荒浜小	94	96	88	100	90	86	77	64	-8	4	-6	-10	-19	-32	91.7	91.7	93.8	89.6	80.2	66.7
吉田小	90	89	86	76	69	61	61	52	-3	-13	-20	-28	-28	-37	96.6	96.6	77.5	68.5	68.5	58.4
長瀬小	139	120	111	102	93	87	80	70	-9	-18	-27	-33	-40	-50	92.5	92.5	77.5	72.5	66.7	58.3
逢隈小	585	591	599	575	556	540	524	522	8	-16	-35	-51	-67	-69	101.4	101.4	94.1	91.4	88.7	88.3
高屋小	65	64	58	52	53	45	41	35	-6	-12	-11	-19	-23	-29	90.6	90.6	82.8	70.3	64.1	54.7
合計	1,640	1,626	1,579	1,541	1,481	1,432	1,376	1,287	-47	-85	-145	-194	-250	-339	97.1	97.1	91.1	88.1	84.6	79.2

中学校	年度別児童数								令和3年度比較(人数)						令和3年度比較(%) (令和3年度を100%とした場合)					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
亘理中	432	450	431	424	404	390	385	396	-19	-26	-46	-60	-65	-54	95.8	95.8	89.8	86.7	85.6	88.0
荒浜中	60	66	69	56	50	44	49	53	3	-10	-16	-22	-17	-13	104.5	104.5	75.8	66.7	74.2	80.3
吉田中	89	88	93	79	70	63	55	50	5	-9	-18	-25	-33	-38	105.7	105.7	79.5	71.6	62.5	56.8
逢隈中	278	278	295	297	319	301	307	284	17	19	41	23	29	6	106.1	106.1	114.7	108.3	110.4	102.2
合計	859	882	888	856	843	798	796	783	6	-26	-39	-84	-86	-99	100.7	100.7	95.6	90.5	90.2	88.8

総計	年度別児童数								令和3年度比較(人数)						令和3年度比較(%) (令和3年度を100%とした場合)					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
総計	2,499	2,508	2,467	2,397	2,324	2,230	2,172	2,070	-41	-111	-184	-278	-336	-438	98.4	98.4	92.7	88.9	86.6	82.5

学校別児童生徒数（令和9年度推計）

小学校	学校名	弾力化学級数						計	弾&標						弾計	標準学級数						標計		
		普通学級							特別支援学級							普通学級								
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年		知的	自・情緒	病弱	言語	肢体	難聴		弱視	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年		6学年	
学級数	亘理小	3	3	3	3	3	3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18	3	3	3	3	3	3	18
	荒浜小	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	1	1	1	1	6	
	吉田小	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	1	1	1	1	6	
	長瀬小	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	1	1	1	1	6	
	逢隈小	3	3	2	3	3	4	18	0	0	0	0	0	0	0	18	3	3	2	3	3	4	18	
	高屋小	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	0	1	0	1	4	
	トータル	10	10	9	10	10	11	60	0	0	0	0	0	0	0	60	10	10	8	10	9	11	58	

		普通学級						計	特別支援学級(障害別)						合計	特別支援学級(学年別 再計)						特支合計	
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年		知的	自・情緒	病弱	言語	肢体	難聴		弱視	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年		6学年
児童数	亘理小	73	83	97	95	100	96	544								544							0
	荒浜小	9	5	9	10	21	10	64								64							0
	吉田小	6	10	10	8	7	11	52								52							0
	長瀬小	7	6	14	13	12	18	70								70							0
	逢隈小	81	92	70	89	76	114	522								522							0
	高屋小	6	6	5	9	6	3	35								35							0
	トータル	182	202	205	224	222	252	1,287	0	0	0	0	0	0	0	1,287	0	0	0	0	0	0	0
	通常+特支	182	202	205	224	222	252								1,287								

中学校	学校名	弾力化学級数			計	弾&標						実計	標準学級数			標計	
		普通学級				特別支援学級							普通学級				
		1学年	2学年	3学年		知的	自・情緒	病弱	言語	肢体	難聴		弱視	1学年	2学年		3学年
学級数	亘理中	4	3	4	11	1	1	0	0	0	1	0	14	4	3	4	14
	荒浜中	1	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	4	1	1	1	4
	吉田中	1	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	4	1	1	1	4
	逢隈中	3	3	3	9	1	1	0	0	0	0	0	11	3	3	3	11
	トータル	9	8	9	26	2	4	0	0	0	1	0	33	9	8	9	33

総計		普通学級			計	特別支援学級(障害別)						合計	特別支援学級(学年別 再計)			特支合計	
		1学年	2学年	3学年		知的	自・情緒	病弱	言語	肢体	難聴		弱視	1学年	2学年		3学年
生徒数	亘理中	139	120	126	385	6	4				1		396	5	1	5	11
	荒浜中	24	15	13	52		1						53	1			1
	吉田中	17	13	19	49		1						50			1	1
	逢隈中	82	107	88	277	3	4						284	3	2	2	7
	トータル	262	255	246	763	9	10	0	0	0	1	0	783	9	3	8	20
		通常+特支	271	258	254									783			

人口は令和3年4月1日現在値 児童数・生徒数は令和2年度学校基本統計による 学校数は宮城県教育関係職員録2021による ※小・中学校の状況は特別支援学級を除く

市町村名（仙台市を除く）	面積	人口	児童数	生徒数	小学校数	中学校数	小・中学校の状況	
石巻市	554.55	140,237	6,318	3,323	33	16	全学年単学級編制の小学校 20校	全学年単学級編制の中学校 4校 ※複式学級のある小学校 4校
塩竈市	17.37	52,249	2,320	1,201	7	5	全学年単学級編制の小学校 1校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校
気仙沼市	332.44	61,171	2,343	1,322	14	11	全学年単学級編制の小学校 8校	全学年単学級編制の中学校 3校 ※複式学級のある小学校 2校
白石市	286.48	32,734	1,434	817	9	4	全学年単学級編制の小学校 6校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 4校
名取市	98.18	78,757	4,949	2,287	10	4	全学年単学級編制の小学校 2校	
角田市 R4統合有	147.53	27,996	1,288	747	7	3	全学年単学級編制の小学校 6校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校
多賀城市	19.69	63,276	3,325	1,643	6	4		
岩沼市	60.45	44,091	2,516	1,324	4	4		
登米市	536.12	76,103	3,651	1,928	22	10	全学年単学級編制の小学校 18校	全学年単学級編制の中学校 4校
栗原市	804.97	64,686	2,800	1,488	11	6	全学年単学級編制の小学校 6校	※複式学級のある小学校 1校
東松島市	101.30	39,121	2,000	1,103	8	3	全学年単学級編制の小学校 3校	
大崎市	796.81	127,381	6,450	3,692	21	10	全学年単学級編制の小学校 12校	※複式学級のある小学校 4校
富谷市	49.18	51,659	3,817	2,047	8	5		
蔵王町 統合計画有	152.83	11,515	514	275	5	3	全学年単学級編制の小学校 5校	全学年単学級編制の中学校 1校
七ヶ宿町	263.09	1,300	41	20	1	1	全学年単学級編制の小学校 1校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校
大河原町	24.99	23,575	1,270	709	3	2		
村田町	78.38	10,670	466	264	2	2	全学年単学級編制の小学校 1校	全学年単学級編制の中学校 1校
柴田町	54.03	38,264	1,855	946	6	3	全学年単学級編制の小学校 2校	
川崎町	270.77	8,353	319	206	3	2	全学年単学級編制の小学校 1校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校
丸森町 R4統合有	273.30	12,268	502	263	8	1	全学年単学級編制の小学校 8校	※複式学級のある小学校 6校
亶理町	73.60	33,098	1,640	859	6	4	全学年単学級編制の小学校 4校	全学年単学級編制の中学校 2校
山元町	64.58	12,051	429	255	4	1	全学年単学級編制の小学校 3校	※複式学級のある小学校 1校
松島町	53.56	13,341	529	271	3	1	全学年単学級編制の小学校 2校	
七ヶ浜町	13.19	18,136	854	477	3	2		
利府町	44.89	35,189	2,200	1,162	6	3		
大和町	225.49	28,786	1,794	795	6	2	全学年単学級編制の小学校 4校	※複式学級のある小学校 3校
大郷町	82.01	7,825	389	193	1	1		
大衡村	60.32	5,849	358	169	1	1		
色麻町	109.28	6,709	338	195	1	1		
加美町	460.67	21,952	1,019	560	8	3	全学年単学級編制の小学校 7校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校
涌谷町	82.16	15,401	651	361	3	1	全学年単学級編制の小学校 2校	
美里町	74.99	24,011	1,154	539	6	3	全学年単学級編制の小学校 4校	
女川町	65.35	6,432	196	103	1	1		全学年単学級編制の中学校 1校
南三陸町	163.40	12,230	448	302	5	2	全学年単学級編制の小学校 6校	全学年単学級編制の中学校 1校 ※複式学級のある小学校 1校

○全学年単学級編制の中学校があるのは14市町（ないのは20市町） 仙台教育事務所管内では塩竈市と亶理町で塩竈の1は「浦戸中（島）：へきち校」である。

○全学年単学級編制の小学校があるのは24市町（ないのは10市町村）

○中学校数が4ある市町は「白石市 多賀城市 名取市 岩沼市 亶理町」の5市町（白石市以外の3市は児童生徒数が亶理町よりも多く、白石市は面積が亶理町の約3.9倍）：白石市の単学級校は小原小中学校で

○角田市の金津中は令和4年4月から角田中に、蔵王町内の3つの中学校は令和9年4月から一つに、丸森町の小学校は令和4年4月から8校が2校にそれぞれ再編統合。